

対馬のトワダオオカ

境 良朗

トワダオオカ *Toxorhynchites towadensis* (Matsumura, 1916) は日本固有、かつ最大の蚊である。体長は優に10mmを超え、後脚先端まで計ると40mm近くにもなる。実際初めて見たときはその大きさに驚かされた。また、吸血はせず、花の蜜などを吸うのも一般的な蚊のイメージとは少し外れる。前胸背を中心に金属的に光る鱗片をまとい美しい。日本では北海道から屋久島まで広く分布しているが、北海道を始め多くの県でレッドリスト種として指定されている。対馬で今までに観察した主な記録をあげる。

記録

- ・ 1ex., 24.V.2008, 厳原町久田（自宅庭）. 撮影・採集
- ・ 1ex., 2.V.2010, 厳原町日見林道. 撮影 シャク吸蜜
- ・ 1ex., 2.VII.2011, 豊玉町仁位. 撮影
- ・ 数頭, 28.IV.2012, 厳原町久田（自宅庭）. 撮影（写真1）
- ・ 1ex., 2.V.2013, 厳原町日見林道. 撮影 シャク吸蜜（写真2）
- ・ 数頭, 23.VI.2015, 厳原町豆殿. 撮影 樹液吸汁（写真3）
- ・ 1ex., 25.V.2016, 豊玉町鍵川. 撮影 シシウド吸蜜（写真4）
- ・ 数頭, 10.VII.2016, 上対馬町西泊. 撮影

エノキの幹に集まって口吻を伸ばしていたが吸汁していたかははっきりしなかった。

- ・ 1ex., 21.IV.2020, 厳原町久田（自宅庭）. 撮影・採集 ※2008年以降毎年確認している。



写真1. トワダオオカ

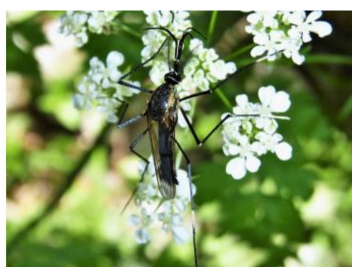


写真2. シャクで吸蜜

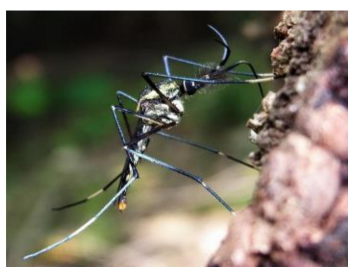


写真3. 樹液吸汁

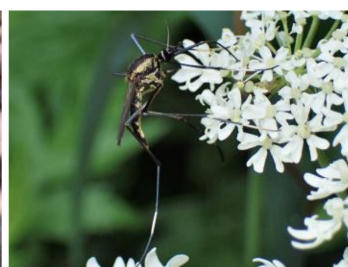


写真4. シシウドで吸蜜

対馬では島内全域に生息していると思われ、平地の市街地から低山地にかけて広く見ることができる。記録上での出現期は4月下旬（4/21）～8月中旬（8/17）である。この間、数回の発生を継続していると思われる。一方、長崎県レッドデータブック2011では「EN：絶滅危惧IB類」（近い将来、野外での絶滅の危険性が高いもの）に指定され、生息生育に対する脅威として「大木のある樹林の減少」が述べられている。また、ネット上にも「山地の原生林に生息」とか「樹洞のたまり水などで発生」などと書かれているが、少なくとも対馬の生息環境には当てはまらない場合が多い。対馬に限っていえば、今のところ絶滅危惧種に指定するような状況にはない。

引用文献

長崎県環境部自然環境課, 2011. 長崎県レッドデータブック2011【普及版】 ; 161